

幼 兒 教 育

第 十 九 卷 第 六 號

大 正 八 年 六 月 一 日 發 行

目 次

英米幼稚園の現況……………藤井利譽

子供の研究は個人的でありたきこと……………倉橋惣三

ひろし
弘さんのお母様……………楓 二子

フレーベルの日に(一)……………江戸堀研究會

六月の園藝……………有川ひさ江

雜 報……………

モンテッソーリの方法に就て……………谷本 富

日 本 幼 稚 園 協 會

會 告

○會費御拂ひ込みの節は御名前が初め御入會の時の御名前と御同一になし下され度く、假令ば初め幼稚園名にて御入會、後、個人の御名前にて會費御拂込み等のことなき様必ず願上候整理上甚だ煩雜致し候につき右特に御注意願候

○會費未納は會計整理上甚だ困難致候に付確實に御納付下され度向後萬一御不納久しきに亘り候場合は乍遺憾雜誌發送を停止可致候間左様御含み置願候

○會員諸君にて御轉居等の節は至急御一報願上候

○萬一本誌不著等のこと有之候折は直に御一報煩し度候

本誌定價

一册 郵稅共金拾六錢 六册前金郵稅共九拾錢
拾二册同金壹圓八拾錢 郵券代用 一割増

購讀申込

本誌購讀御希望の方は右定價表により振替貯金にて御拂ひ込み下さい。直に送本致します。(振替口座東京一七二六六番)

大正八年五月廿八日印刷納本

大正八年六月一日發行

東京府豐多摩郡代々幡村大字代々木山谷二二四

編輯兼發行者 倉 橋 惣 三

印刷者 東京市本所區番場町四番地

印刷者 守 岡 功

印刷所 東京市本所區番場町四番地

印刷所 凸版印刷株式會社本所分工場

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

發行所 日本幼稚園協會

六月常會

一、時 日 六月十四日(第二土曜日)午後一時半より

一、場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て

一、講 演

此頃の子供繪雜誌につきて

文學士 倉 橋 惣 三君

會員外の方々も多數來聽歡迎

六 月

日本幼稚園協會

幼 兒 教 育

第十九卷
第六號

大正八年六月一日發行

英米幼稚園の現況

——五月十七日日本幼稚園協會總會の講話——

東京女子高等師範學校教授 藤 井 利 譽

米國に於ける幼稚園の起源

既に御承知の如く、米國は教育の進んだ所と申してよいと思ふ。只、其進んで居る事が深みがどれほどあるのか、或は其實質の上に於て、よく出來て居るか否かは別として、兎に角普及して居る事は明かな事であります。従つて、幼稚園の如きも其數極めて多く、且種々特種の目的を有するもの、又、設立者經營者にもいろいろあるが誠に普及されて居ると思ふ。しかしながら今日かく迄に一

般的になつてゐる幼稚園も其起源に溯れば、決して遠くはないのであります。

初めて米國に幼稚園の出來ましたのは、西曆一八五五年で、フレイベルの弟子であつたミセス、カール、シユルツによつてかのウキスコンシン州のウオーター、タウン、に建てられたものであります。其の後十五年間引續き各所に獨乙風の幼稚園が開かれ其の數、十以上に達しました。

しかし英語をはなす子供、即ち米國人のための幼稚園の初めて開かれたのは一八六〇年であつて

これは、ボストン市に於てミス、ピポデーによつてなされたのであります。其後の變遷の大體を次に述べる事とします。

幼稚園設立に關する種々の運動

米國の幼稚園が設立される上に於て一八五五年から一八六〇年乃至七〇年の間に如何なる運動が行はれたかと云へば之を大體四つに分ける事が出来ると思ふ。

第一種の運動——これ即ちボストン市に於てミス、ピポデーが初めて行つたもので幼稚園の草分けとも云ふ事が出来る。

第二種の運動——慈善的運動でこれはマツサチューセツ州のフロレンスに初めて起つたものでやがて米國全體に擴がる様になり、サンフランシスコに於て最も盛になつたのであります。

第三種の運動——國民教育的運動でこれはセントルイスに於て初まつたものであります。

第四種の運動——これは母のための教育を主として起つたもので幼稚園の教育は先づ母の教育をしなければならぬと云ふ意見による運動であります。

扱第一種のもは其後一般民間に廣く紹介されてボストン市ではやがて教育局に承認され公費を以て實驗的に、公立幼稚園が出来たのであります、其最初の創立者たるミス、ピポデーは、先づ獨乙に行つて研究したのであります。(獨乙には既に一八四〇年に初めて幼稚園がたてられたのであります)ピ氏は千八百六十八年歸米後この教育の宣傳に生涯を捧げたのであつて、かの基督教宣教師が傳道する如くにこの幼稚園教育主義の傳道を實に熱心に眞面目につとめたので、之がやがてボストン市の教育課に認めらるゝ所となり、遂にひろく普及するに至つたのであります。

私が或る時かのコンコルドにエマーソンやホーソンの墓所を尋ねた事があつた。其時に小學校の

子供が私に「もう一つの墓に是非おまゐりせよ」と云ふので誰の墓かとさくと「幼稚園の先生のお墓」と云ふのでありました、其時に私はまだビ氏の事は少しも知らなかつたのでしたが、勧めらるゝまゝに幼稚園の先生ビポデー氏の墓に詣でたのですが、かく小さな子供達の頭脳にまでさざまれてゐるのを思へばビ氏の幼稚園に對する功績の偉大なる事をしのぶに餘りあると思ひます。

このビ氏の運動はポストンよりニューヨークにも其他各方面にひろく擴まり幼稚園に關する雑誌會報なども盛に出す様になつたのであります。

第二種の慈善的運動は、マツサチユーセツツ州に起つたのであります。ミセス、シヨーが先づボストン市に此種の幼稚園を設けシヨー氏は永き間この慈善事業に従事貢献する所多大であつたのであります。其後この運動が米國の各地に擴がり特にサンフランシスコではゴールデンゲート、アリ

シエーションもとに幼稚園が盛に經營されたのであります。其規模に於ても數に於ても一時なか／＼盛でありましたが、其後經濟上の影響でやゝ衰へたと云はれて居ります。

第三種の運動は一名セントルイスの運動とよばれて有名なものであります。當時このセントルイスの教育課長であつたウイリアム、ハリス氏が大にこの種の運動に注意を拂つたのであります。氏の意見では「フレーベル氏の教育意見に従つて四才乃至六才の子供は教育を受けなければいけない又この傾向を公民教育パブリックの中にも取入れねばならぬ」と云ふのであつて、丁度一八七三年の秋に初めて、セントルイスに四才乃至六才の子供の教育をなす場所——幼稚園——を實驗的に建てたのであります。其後、この例に倣つて此新教育主義の幼稚園が續々起つたのであります。一八八〇年、ハリス氏が職を辭する頃には、既に二千八百余の兒童

がこの幼稚園教育をうけたと云はれて居ります。

當時、此新教育に對する世間の攻撃も決して少くなかつたのであります。或者は「幼稚園の教育は經濟上から公立學校の費用の中に入れる事は出来ぬ」と拒み、或は「フレーベル氏の教育主義は幼兒本來の美性を損ふものなり」とし、或は幼稚園教育を受けた幼兒は小學校に行けば禦しく、取扱ひにくくなる」など其他種々の攻撃の矢に對してドクター、ウィッスは「幼稚園教育は學理上よりも又教育行政の上よりも、適當又かくべからざるものである」とて動かさず、あらゆる反對攻撃を退けてつひに成功したのであります。しかし其間には實際上經費の上などに種々の困難を生じ、ハリス氏は苦闘よく之に打勝つたのであります。今日考へれば、氏の教育意見は左程新しいものではありませんが、此當時の人々にとつては、氏の主張、其信念は實に新思想であつたのであります。氏は四才乃至六才の幼兒期が危険多きもので、この期の子

供の要求は學校や家庭では充されぬ、優良なる指導の下に幼稚園を経過したるものは小學校に入學の後によりよき成績を擧げて居ると云ふ事を縷々述べて居ります。この權威ある所論が幼稚園教育の可能を他の教育者にも信せしめ遂には幼稚園教育に従事すべき教育者——保母——の養成の必要を認め、之に着手するに至つたのであります。かくてこの運動により、小學校教育の系統に幼稚園教育が一段階をなすに至つたのであります。

第四種の運動はシカゴを中心として起つたもので、即ち先づ母親に對する教育をしなければ幼兒教育の事業は成功せぬ之を等閑に附するは寧ろ不思議な事で、誰でもフレーベルの本をよめばこの運動の必要は認め得るに相違ないと云ふ事を主張して居ります。一八九〇年頃にシカゴ市の某所に先づ大學の一部として母のために必要な幼兒教育の理想、方法などを研究する機關が設けられまし

た。最初は極めて微々たるものでありましたが、次第に發展して、保姆教育の機關も設けられ、一方に母親もこゝに來て幼児教育を理解する事が出来る様になり學生も増し又かゝる教育の機關が米國各地に傳播するに至つたのであります。

次に、モンテッソリー主義の教育をするものについて考へて見ますと、一九一六年の米國文部省報告によれば、モ氏主義の學校はニウヨーク市、内外に二十校あり、其後ますます其數は増加して居ります、一九一七年には更に十校の増加を見、その内の六校は純粹の幼稚園ではなくて、托兒所となつて居ります。これらのモ氏幼稚園の兒童數は一組少きは二十五人、多くて四十人位です、其後、モンテッソリー協會の調査によれば、全くモンテッソリー主義によつてたてられ之を實行して居るものが米國全體に一八九校あると云ふ事です此の外にも諸學校に附屬してモ氏の主義をとつて

居るものは米國全體に實に三千校もあります、之が單に幼稚園と云ふ幼児期教育のみでなく、更に小學校、或は以上の教育にまで及ぼさんとする傾向が益々盛になつて居ります。

米國に於ける幼稚園の統計

以上のごとく各種運動の結果普及されて居ります幼稚園の統計を見ますと、公立の幼稚園が米國全體で實に八四六三校（一九一七年現在）あり、其中最も多きは、ニウヨーク市で、一七四六校あります、この全體に就學して居る兒童は約四十三萬人、日々出席平均數は二十五萬人、其保姆の數は約九千人であります、各州多少の相異はありますが、大體に於て保姆一人の受持平均は先づ二十七人強となります、尤もニウヨーク市のごときは人口多く従つて子供の數も多きため、保姆一人の受持平均は三十一人斗りとなつて居ります。

かくのごとく、幼稚園が増加するとともに一方

保母養成の事業も盛になり、この養成所は、私立及幼稚園協會の維持にかゝるもの合せて百校以上あります。又、米國全體を通じて州立の師範學校百七十餘校には何れも保母養成所が附屬して居り又二十余の大學カレッジ（日本の大學とはやゝ趣を異にしたるもの）にも、やはり、この保母養成所部があります、四十八州の中で約二十七州は公の金（即ち租税）を以て幼稚園を經營すべき事が州の法律で定められて居ります。しかし一方に彼の國は各州それづくに自由になつて居るために八州だけは何等の法規によらず個人が自由になつて、よいと云ふ事になつて居ります。

シカゴ教育大學附屬幼稚園

私は最初自分の研究のためにシカゴ大學に居りましたが、此大學には教育部がありそこに幼稚園小學校、中學校が附屬してゐます、幸この幼稚園を見學いたしましたから、勿論代表的のものとは

云へませんけれ共其大體を申上ませう。

(一)設備——室は附屬小學校の二教室を用ひて居るのですが勿論室の構造など完全なものでありません。一つの保育室は、四間半に五間位で、室の周圍には低い戸棚があり、其の幅二尺位で壁から前方に出て居ります、戸棚の上には植物などが置いてあります、一方の壁に戸があり、之を開くと中は、庫の様になつて居つて遊具が入つて居ります、實に小さな室をよく用ひて居るのには驚いたのであります。

この室の隣に二間四方の室があり、此處には小學校で用ふる、机椅子が入れてあり、此處は年長の組の幼兒が時々入つて、稽古をする所です。室の外には、外套、帽子などを一人一人に入れる事が出来る設備があります。

飲料水は噴水的になつて居つて、自由にのめ、且衛生的に出來て居ります。

廊下は、非常に廣くて、此處には、滑り臺、シ

トーンなどの遊具があり、これは冬期戸外に出られぬ時に此處で自由に遊ぶ事が出来、且また、室内に迄持ちこめる様になつて居ります。

遊園は特に幼稚園のために設けられたものではなくて、小學校の子供と、一緒に用ふる様になつて居ります。

校舎の近くには、畑があり、植物の發育の有様を自由に観察し得る様になつて居りますが、自然物の觀察のためには、室の窓の所の空間を利用して、其處に箱をおいて、種々のものを播いて居ります。内部をブリキ貼りにして土を入れ外側を籐づるで籠の様にして、體裁よくしてあります。其處に豆や菜をまいて、子供に栽培をさせます。或は鼠などを飼育してたえず子供に世話をさせて居ります。

尤もシカゴはお存知の如く夏はあつく、冬はまた随分寒い所ですから、戸外で遊ぶ事よりも室内でくらす事が多いので室内であそぶために種々の

工夫がされて居るのであります。

(二)編成——この組の子供は二十名で一組だけでした。ミス、ゴルドンが主任保母でこの人は日本の教育にもなかく興味を有し語つて面白いと思ふ事もありました。(私の居る間に結婚をして職を退きました)この婦人の下に若い助手が一人ありました。

保育は、ある特別な作業の外は二十人を一諾にして二人で保育してゐます、尤も教育大學の方の教生(特に將來保母たらんとする人)が来る時期には二十人を幾つにもわけて、幾つかの團體にする様になつてゐます。

(三)一日の保育——保育時間は毎日、午前九時より同十一時四十五分迄です。この間を幾つかに短く、細かくわけて居ります。

先づ九時より同三十五分迄は、朝の挨拶、出席調査、簡単な運動などがあり、九時三十五分より同五十分迄の間はお話(主として會話子供に自由

發表をさせ、又は自然物の手入など、九時五十分より十時迄は休憩、十時より同十五分迄は音楽、十時十五分より同四十五分迄は作業（主として構成的のもので例へば大きな家を紙でつくるごときこと）、十時四十五分より同十一時迄は遊びをなすこと、十一時十分より同三十五分迄は手技、十一時三十五分より同四十五分迄は面白き話をなし、十一時四十五分に帰宅と云ふ事になります、此間に休み時間は室外及室内各々わづかに十分づゝであります。

かくのごとく時間をごく短く區切る保育法は其可否如何について研究はしてゐませんが、私自身多少の疑問は持つて居るのであります。其後ニウヨークのテイチャース、カレッヂに参りました時にもこれに類した幼稚園を見ました、ニウヨークの方では十時の休み時間にテーブルの上を子供達がよく掃ふて、紙のナブキンを敷いて、子供達が持つて來た菓子を先生と一緒に食べるのでした。

シカゴの方では初めにビスケットを籠に入れて之を先生の机の上のせて置きます、子供は各々手を奇麗に洗つて室に入り、一人一人が一つづゝ机の上からビスケットを取つて自分の机に歸つて靜かに食べるのでした。其間の規律がよく行はれ、先を争ふものもなく誠に應揚な様子が見うけられました。

(四)作業に就て——子供のこの幼稚園に於ける作業は私が見ましたのは大正六年の二月から四月五月の頃でそれもごく二三に過ぎぬのですから、他は皆様に想像して頂く外はないと思ひますが、先づ子供が談話を聞く様子を申しますと先生は椅子に腰をかけ、子供は小さな座薄團（薄團と云つても小さなもので帆布綿でつくつた簡單なもの）を室の一隅からもち來つて、之の上にあぐらをかいてきいてゐる。話がすむとまた椅子にかけ、机をもち出して作業をする、即ち室内における姿勢に種々變化を與へる様にして居ります。

作業は主に構成コンストラクティブ的のものを撰んで居り、紙

又は木片を用ひて、なか／＼大形のものを構成します。例へばボール紙を用ひてある町の商店をあらはし、其處には牛肉屋もあれば、雜貨店もありその店にはまた人形をつくつて賣る人、買ふ人をあしらひ随分大仕掛に、又連續的に構成します、或は長い積木で家とか、燈臺とか、さまざまのものをつくりそれも大仕掛で子供に背のトツかぬものは踏臺までして組みたて、居ります。

これは構成するばかりでなしに、之を用ひて、保姆は子供といろ／＼の對話を致します、例へば教會をつくれれば之に説明を與へそれからそれへと話をすゝめて行き、或は室内の裝飾に先生が相談にのつて子供と一緒に構成して行きます。かくて實際生活の有様を知らしめ考へしめるのであります。

作業の大體は日本の幼稚園でして居る事と大差はないと思ひますが、たゞ一つ此幼稚園では、文

字及數の初歩を教へて居ります。尤もそれは此園兒の中でも年長の組、即ち六才七才の子供に教へるのであります、先にのべました二間四方の保育室はこの目的に用ひられるのでそのために小學校用の机がならんで居るのでした。此處には黒板もあり、又、熟字をかいたカードもあります。又、木の活字で印刷した大きな掛圖があり之を掲げてよませます。

此室のあらゆるものにはその名稱をかいた紙片がついてゐます、窓には window. 机には desk などの如き其他手拭、石鹼にいたる迄、一々正確に紙にかいてピンでとめてあります。かくして見るものふれるものに子供がおのづから正確な觀念を得る様にして居ります。此處で文字の教育をして、もし成績がよければ、その兒は小學一年級の後半に進級が出来るると云ふ様になつて居ります。

算術の方では種々の場合を利用して數の觀念を與へる様にして居ります、私はある時、一つのコ

マを廻してそれが廻つてゐる間に一、二、三と數へるので一人の兒は八十迄數へて先生から賞められて居りましたを見ました。

かく文字及數の觀念を幼稚園期にわざ／＼與へる事は教育上進んだ考へであるか否かはまだ研究の餘地があると思ひますが、幼稚園のある時期に數及文字を數へる事は其方法よろしきを得れば不可能なる事ではなく、ことに我が國語のごとき覺えるに困難なものはこの點を大に研究する必要がありと思ひます。

(五)衛生に就て——二月の極寒の候でも暖室法が充分であるために幼兒はごく薄着です。四季を通じて極く質素な夏服です。財産家の子が多いこの幼稚園でもその服裝は全く洗濯のよく出来る丈夫を主とした地質を撰んで居る事は日本流に考へて誠に羨しい程に思ひました。室内の溫度は六十度位を保つ様にしてあります。従つて戸外に出る時には厚いあたゝかい外套を着ます。つまり衣服

の調節がよく出来る様になつて居ます。

室内の掃除はきはめて行届いて居りますので、床の上にゴロ／＼ねても着物の汚れる事はありません。

子供の椅子には日本流に薄團を結びつけて居る所はシカゴのこの幼稚園のみならず何處にも全く見當りませんでした。木のゴツ／＼した腰掛にそのまゝ腰かけるのです。これは室がよくあたゝまつてゐる爲かもしれませんが子供が冷えるなど、云ふ心配はして居らない様です。

(六)訓練上について——この幼稚園では概して訓練が嚴格な様に見受けました。あまり自由勝手は許されません。遊戯の間にも、大聲を出すとすぐ罰せられます。談話の最中に少しさわぐ兒は列外に出されてしまひます。私はこれについて教師に意見をきゝますとその答は「幼稚園の教育は唯自由を許して放埒であつてはよくない、少し嚴格な主義の方がよろしい。この學長の、ドクター

チャットは嚴格訓練主義です、それ故私も其主義をとりまします。」と

嚴格ではありませんが、この主義のもとに訓練されてある幼児がかの構成的の作業をなす時の如き作業に熱中して一心に注意を集注する事は驚く斗りです。決して日本の子供の様にざわ／＼して居りません、ごく落付いてゐますこれは實に想像以外でした。

或る時、私は休憩時間に子供が水をのむのを見ましたが、フト一人の子が先にかけて出して、水飲み場に行くと、あとの子は決してドヤ／＼と馳けません。先生も誰も指圖するものは居らぬのに、彼等はいつとはなしにチャンと一列に奇麗にならんでしまつて順々にしづかに一人づゝ水のみに行くのでした。一體に自由と規律とが相伴つてゐる様で教師の云ひつけは眞面目に受入れます、そして多くの場合に先生も生徒も靜肅沈黙を守る事多く、小學校などでも決して我國のごとく「先生、

先生」とやかましく云ふ様な事はありません。

その外、シカゴで師範學校附屬のもの、又モンテッソーリー主義のものも見ましたが大體に於て大差なく又、日本で行はれてゐる幼稚園教育とあまり變らぬ様に思ひました。

米國に於ける幼稚園教育

に對する論議

かくのごとく各州に普及して居る幼稚園教育がしかも教育の意見に於て、大に進んで居ると思はるゝ米國に於て、今尙幼稚園に對する批難の聲は盛であります。又其の批難に對して一々答へは與へられて居るのであります、次にその大要を申上ませう。

(一) 小學校教員側の批難で、それは「幼稚園から來た子供はどうも取扱ひにくい、彼等の性質は幼稚園にある間に損はれてゐる、小學校は幼稚園を

經ない子供、家庭から新たに來る子供を歓迎する」と云ふのであります。これに對しては、文部省の幼稚園部に於て幼稚園協會と合同して立派に答へて居ります。曰く「かくの如き批難をする教師は兒童の發達に興味をもたぬ人である。家庭からすぐに來る子供は、どうしても學校と云ふものに對して、一種の恐怖を有し分離的感情を免れない此等の特性の上に形式的訓練を建設しやうとする小學校教師は、全く幼稚園から來る子供に初めから同情をもたない、又、子供の知識又は教育に重きをおかぬ人である。それ故かゝる反體の意見は幼稚園教育の弱點を指摘するのではなく、小學校教師自身の弱點を示すものであると見て差支へない。幼稚園教育を不必要とするものは、教育は自發的活動から出發するものである事を知らぬ人、之を實行せぬ人である。もしも、教師が受身と秩序、放埒と自己發表とを混同して居るならば、それこそ、幼稚園から來る子供を取扱ふ事が困難である

う。何時でも受身的に働くものを、從順であると思ひ、自己活動をするものを放埒と誤解する、かゝる人は幼稚園の教育を不良なりとするであらう。しかし、また、これらの批難が幼稚園の理想理論に加へられしにあらずして、今日の實際の方面に加へられたものとするならば、保母は反省しなればならぬ。もし自由と放肆とをはき違へて不從順無作法、激發性の習慣等を許して教育する保母があるならば、それこそ子供はかゝる教育のために不良になるであらう。しかし、それは、幼稚園教育を理解せぬ保母に加へられる批難であつて、教育そのものには加へらるべきものではない。現代の心理學や衛生學の研究は凡べてこの時期の教育の樞要を認めて居る」と

(二) 幼稚園では子供は何にも學んで來ない。この聲は日本でも從來幼稚園を理解しない家庭からよく起つた聲ですが、既に今は我が國に於てはこの考の誤れる事は明らかになつてゐます。——こ

れに對する答もまた堂々たるものであります。曰く「米國各地に行はれたる實際の調査は、幼稚園から來た子供は之を通過せぬ子供以上に其の自然的活動力、數の觀念、注意力、想像力等、はるかに勝り、また一事に對する反應なども、すぐれて居る事を明らかに示して居る。

たゞ幼稚園で鍛えられた力を小學校で其の擴張が妨げられる、又小學校の方で其の擴張を誤まらず事が多い、これ小學校と幼稚園とが充分聯絡しなければならぬ所以である。又一方幼稚園から來る兒は家庭から來る兒より數に於て少ないためにこれらが一緒に小學校教育をうける時にその差が尊重されにくい事もあろう。しかし其の幼稚園教育功果の大なる事は明らかなる事である。

或る人は、すべて學ぶと云ふ事は、何時でも頁の上に印刷されたものからだけ學ぶと考へてゐるしかもその人は文字の上にあらはされたものは其の文字以外に觀念を必要とすると云ふ事を理解せ

ぬのである。明らかに開いた眼、よく傾聽する耳さめた心、これらは幼稚園教育の豊富な多様な實に變化に充ちた經驗の結果得らるゝものである。

到底他の場所では學ぶ事は出來ない。文字を讀む技術は發達の程度から云へば後から來るものである。この技術を得る前に之を理解する觀念をつくる事が大切である。之が幼稚園の仕事である。遊戲は幼兒の優勢なる本能であつて此の時代の自然の活動である、活潑に、存分に遊ぶ子供は將來精一杯に活動する大人となるのである、蓋し一時代は次の時代を形成するのである、故に子供は幼稚園に於ては遊ばねばならぬ故に遊ぶのである、決して時や勢力の浪費と見るべきでない、と

(三) 幼稚園は子供を神經質にする、——これに對しても、やはり之は保母その人の問題でもしもやたらに過度に幼兒を刺激して顧ざる如き先生に取扱かはればかゝる心配もあろうけれ共、これは實際上、學理上、幼稚園の理想ではない、即ち

そのシステムの罪ではないと答へて居ります。

(四) 一體、四歳乃至五歳の子供は只健康であればよいので、それを幼稚園などに送つていろいろ他の要求をする必要はない、机や椅子に束縛させる必要はない——之に對しては、かゝる事は教育は人類の全時期を通じて、それ／＼に必要な時期がある事をしらぬ人の言葉である。かりにも人間と生れた以上は其如何なる時期にも全く動物や植物のごとき生活のみではない、高等なる精神的生活の萌芽は必ずある、之を無視する事は出来ぬ。

(五) 幼稚園は室内で教へる教育ぢやない出来る丈戶外で遊ばせる筈である、幼稚園とは子供に對してあるのでなく子供に依つて成立つものである其名が、ガーデンであるごとく、のび／＼と園に放ちて遊ばせねばならぬ——と。私の見たシカゴ幼稚園でも室内生活が多かつたので、米國では氣候風土の關係上、戶外で多く遊ばれぬ所もあるので

勢ひ、かかる批難も起るのでせうが、日本の如く氣候もよく温度も天候もよい所では、子供の戶外生活をさせる上には誠に好都合なのであります。

(六) 幼稚園は貧乏人に必要なもので、富者、否、相當生活をするものの家庭には不必要である。と、——この聲は日本でも往々きく事で、即ち幼稚園を托兒所と同一視するのであります。一體、どこに住居があつたにしても、幼兒はつねに幼兒である、幼稚園を要求せぬ子供は米國全體を見渡して決して多くはない。如何なる富貴の家庭の子でもその子に必要な社交性、社會性、自己抑制の心社會生活にかくべからざる共同の精神、犠牲的精神などは何處で發達させるかと云へば、これ實に同年齡、同時代の子供の間に於て初めてなし得らるゝものである、たとひ家富み侍者多く、家庭教師あり、又たとひ兄弟の二三人以上あるにしても之では不充分である、人間の凡べての時期を通じて、我々は多くの人と共同の生活をしなければならぬ。

らぬもので、これに對する教育は極めて大切なものである。

充分に教育あり素養ある教師の態度、組織せられたる發達の計畫にしたがひ、材料が差出される事及び健全なる競争をさせるために、互に刺激されて行く事などは、如何によき米國の家庭でも到底行はれない事である、よき幼稚園の設備は衛生上から云つても家庭よりはるかに善い、空氣もよく運動も自由である。

それ故理論上に實際上に、ある特別の家庭生活をなし得るものの外は貧も富も其區別なく、幼稚園に出して其の教育を受けさすべきである。と

以上諸論から翻つて我が日本の教育界の現在ならびに將來を考へますならば、幼稚園教育及小學校の初年級に於ても、研究すべき事柄の多々あるを思ふのであります。

英國のインフハント

スクール(幼稚園)

英國のインフハント・スクールは、小學校教育と幼稚園教育とを調和したものとも考へられます。五歳から入學を許し、最初の一學年は我が幼稚園の様な事をします。學課は定められてありますが算術、英語(讀方、書方)圖畫、體操、作業、唱歌、聖書の話などで之を一定の時間數だけやつて行くのであります。例へば年少の組では國語が一週間二百二十分、體操が百二十分、唱歌が八十五分乃至九十分、となりこれをまた一日の中にあてはめて居ります。

九時から初めて二十分、三十分、十分と云ふ様に區切つて十二時に一先づ休んでこゝで晝食をなし、また一時五十分に初まつて、三時まで續きます、十二時迄と一時迄に二十五分づゝやすみます。

大體の方法は、一言すれば、先づ幼稚園的にして居るので、國語と云つても教科書を用ふるのではなく、文字の發音を教へ、又は面白い話をよんできかせるとか、容易しいものを讀ませるとか致します。

圖畫、習字などにもペンは用ひさせず何れもチョークを使はせて居ります。私の參觀しましたインフハント・スクールの校長はこのペンを用ひさせぬ事について「五つや六つの子供に、あの堅いペンを使はせる事は不賛成です、習字も圖畫も皆チョークにして、しかも繪などは色チョークで自由にかゝせます」と申して居りました、丁度私の見て居りました時に、幼兒はなか／＼進んだものを見てゐました。二人の仲間を後向き立たせて、之を寫生してゐましたが、出來上つたものは、それは頭や手や胴のつり合ひはとれていませんでしたが、兎に角大きな畫題をとらへて、それを子供の腕でどし／＼こなして行くのには感心しました。

またある室に行つて見ました所が、室内に鳩を飛ばせて、之を見ながら子供は粘土で鳩をつくつてゐました、出來上つたものは足か馬の足の様な鳩でしたがそれでも、子供はこの寫生的に彫刻した作品を立派なものとして大得意でした。

このインフハント・スクールでは午後は學課はなくて、子供は室に入つて自由遊戯をして居ります。竹馬に乗るもの、人形をもつて遊ぶもの、水の上に船を浮して喜ぶものなどさまざまです、やがて疲れた頃に「皆室にかへつて寝やうぢやありませんか」と先生が云ひます、すると床の上に各々ベットを置きます、ベットと申しても机を逆さにしてその四本の足を柱として帆木綿で出來た吊り床を擴げるのです、窓のカーテンの黒布を下しますと、室内は丁度、夕方位の光線になります（ロンドンには霧が多い所として日中でも光線の直射はあまり見られません）教師は、之を見守りながら何か仕事をしてゐます。かくて三時にはそれ／＼

歸宅するのであります。

大分お話が永くなりましたが終りにロンドン市中に行はれてゐるモンテッソリー主義の幼稚科について一言致しませう。モ氏の主義と申しても、其の器具を用ひて居るだけで、其の眞の主義を採用する點では別法を講じて居る所もある様です。

私は、ロンドンの北のイスリングトンのインフハント・クールを一日參觀いたしました。丁度、地方視學に案内されましたが其視學は大にモ氏の主義に反體で今參觀しやうとする學校の校長のモ氏主義の主張をひどく批難攻撃して居りました。しかし、いよ／＼學校に行つて見るとその校長は四十位の婦人でしたが、その視學及外國人たる私を丁重にもてなしてくれました。しかも其のモ氏主義に對する熱心なる主張と確信とをその主義に大反體の視學を前において、少しも恐れる所なく憚る所なく發表されました。私はモ氏主義の學校

そのものを見に來たよりもこの元氣な勝ち氣な婦人の確信ある態度に得る所多かつたのであります。英國の婦人があらゆる方面に社會的活動をする事はかねてから、きいて居りましたが、この婦人にその實際を示された、其活動的積極的方面を見せられたのでした。

* * * * *

以上、ごく簡単な視察談ながら、時間も大分たちましたから今日の講演は之にておはる事と致します。

〔筆記……文責記者〕

「子供の研究は個人的でありたきこと」

—某講演會に於ける講話の一節—

倉 橋 惣 三

○太郎は太郎

我々は兒童心理學は學問として研究をする事は出来るけれども、これは何處までも抽象した學問であつて、具體的の一人一人の子供の事實、生活、そのものではない。太郎は何處迄も太郎、花子は何處迄も花子それ自身である。何處を探しても謂ゆる兒童心理學にピッタリ合ふ様な子供は居るものではない。そこで、子供の研究は何處迄も個人個人について其の具體的事實をとらへなければならぬ。一體學問は、世の中の事實があつて其處から生れ出たものであつて、一つの學問があつてその論理に従つて世の中の實際の事實が出て來たものではない。それ故、我々は、子供を取扱ふ場合に「兒

童心理」と云ふ様な學問を尺度ものさしとして之を以て實際の事實——子供の實生活——をはかつては誤る事が多い。例へば此處に棕櫚の樹がある、すると其の葉が長いと云ふ、けれどもその長いとか短かいとか云ふのは、尺度ものさしを持つて世の中をあるいて居る人の話で、棕櫚の木にとつては其自身が絶対に棕櫚の木であつてあの獨特の葉を、あの様を持つて居るのである。幾何學では正方形とか三角形とか云ふ、しかしこの學問上の形は何處にも存在してはゐない、抽象的のものである、實在するものは正方形でも三角形でも（幾何學上謂ゆる）なく石は石、貝は貝でそれ自身に獨特の形をもつて居るのである。すると人は幾何學上の正方形なり三角形なりを實物の中に探し出さうとする、しかし探

し出せない、そこで實際ある形體を例外であると云つてしまふ。しかし本當は事實あるものがそれ自身あるもので、むしろ、幾何學上の形が例外なのである。これと同じく、我々が子供に對する時にも、なまじい^{なまじい}に兒童心理などと云ふ考をもつて居る人は、ともすればこれを尺度^{もひさし}として子供をはかる、そして實際之に全く合する様な子供は居らないから、そこでよく「例外」と云ふ言葉をつかふ。これは實に大なる誤りで實は兒童心理の謂ゆる子供——抽象したるもの——が例外なのである。太郎は太郎、實に置きかへる事の出来ない太郎それ自身で太郎にびつたり合ふ兒童心理はないが、しかし太郎と云ふ子供は存在の事實である。其處で、子供の取扱ひは、實に、一人一人、その個人を對に價値あるもの、かけがへのないものとして見て行かねばならぬ。

○個人性を認めること

如何にすれば太郎を太郎そのまゝに見て行く事が出来るかと云へば子供の個人そのものを認めるためには先づ子供に對する我々大人が自己の個人性を認め得る人であらねばならぬ（私は個性と云ふ言葉を用ひたくない何故なら在來用ふる個性と云ふ事は十人十色な人間性をごくわづかの部類にわけてそれにはめ様とするからである。私は地球上に生存する人類の數だけ個性はあると思ふ、一人も同じ人間はをらない、そこで特に私は個人性と云ひたい）私は絶対に私である、長所もある短所もある、しかしその長、短と云ふのはやはり尺度をもつて來てはかつた時の話で存在の事實として私は私なのである。たとひ駄目だからと云つても私のかはりに誰か他の人をもつて來れば、それは私ではなくなつてしまふ、この意味で實に私は無比な存在なのである。それ故先づ自分としての存在を充分尊重し、之を認めると云ふ事が大切である。かのカントは、「如何なる場合にも人間を

手段として用ふる事は出来ぬ」と云つて居るが、更に「手段として用ひ得ないばかりでなく個人の存在の目的そのものを置換へる事も出来ない」と云へると私は思ふ。自己を最も尊重し得る人にして初めて他の個人性を認め得るので自分の個人性の貴さを意識しない人にとつては、甲人も乙人も丙人も一向區別がつかず、丁度路傍の礫いじこが、たゞ同じ様な形してゴロゴロ轉つてゐる様に見えるのと同じ事になるであらう。

○自分に結びつけて

然して自己の個人性を認め従つて他人をもまたそれ自身無比ユニークなものとして認め得たと云ふこれだけでは誠に物足らないと思ふ。これだけでは「彼も人、我も人」と云ふだけの話で、絶対無比の人間がたゞ集合したと云ふ事にすぎない。更に、その認めた個人の人格が自己と云ふ主観に結びついて來て、其處エモーショナルに感情的な客觀對主觀の關係が成立し

て初めて個人尊重の意味が生ずるのである。即ち無味乾燥な實體の集合でなしに、うるほひある人間の生活が生ずるのである。こゝに於て子供を具體的存在の事實として認めたと云ふばかりでなくその實在を愛すると云ふ事になつて來る。愛すると云ふ事は換言すれば「自分に於て認める」と云ふことで、その認めるのが他人ではなく何處迄も自分なのである。客觀ではなくて我と云ふ主觀なのである。この自己に於て認めると云ふ事は、子供をたゞ單なる研究の對象として見て居る様な場合には、決して出來るものではない、少くとも自分がその子供の生活の中にはいり込んで行つた時に出來得るものである。それ故に、小學校なり幼稚園なりで何年も同じ子供を受持つて居る先生は、その受持の子供のどの兒についても駄目な兒と云ふ様な感はもつ事が出來なくなる。それはその各々の絶対ユニークな所が承認せられて居るからである。しかし、子供の個人性を一番よく承認する事の出來

るものは何と云つても親である。實に自然はよくしたもので、どの子も自分を承認して呉れる人を二人づゝもつて居る。親に於て子供は最もよく其の絶對なる個人性を承認されるのである。親と子の關係は何物も之をうばふ事は出来ない、「あの人は親としての資格がない」とか「あの子は低能で子として持つ價值がない」とか云ふ事を聞く事があるが、これは親と子とのその絶對の個人對個人の立場を無視して何か外の尺度をもつてはかるために生ずる批判であつて、父と母とその子供達との間の關係は、資格があるもないも駄目であつてもなくつても、其れ自身それは親對子のはなるべからざる關係のある事實の存在なのである。それ故客觀的には、たとひ、どんなに謂ゆる、わい、子でもその子の親にとつてはやはりその個人性を承認し得るのである。即ち獨り子は、この二人の——

父と母——人格承認者を獨占し、五人六人の兄弟ある人は兄弟が一緒になつて其の父と母と云ふ承

認者を共有して居るわけである。これが實に自然の妙とでも云ふか、この世の中のよく出来て居る所で、これでこそ、どの子供も幸にその個人性を認められて居るのである。

○平凡の價值

近頃天才教育、早教育と云ふ事をよく云ふ、天才と云ひ凡才と云ひ、これまた一つの標準をおいてそれを尺度としたもので、丁度少しも繪のかけない人には少しでもかける人が皆天才と見え、又巧みな人から見れば誰もが凡人と見える様にその標準とする所の如何によつてどうにも變り得るものである。

そこで、親が子供の個人性を承認する場合にも何か特殊な優秀な點をもつてゐなければ何だか駄目な様に思ふ事は、親のためにも又子供のためにも誠に不幸な事である。富士山が高いからと云つて外の山々が皆駄目な様に思はれると同じ様に我

々があまり優秀と云ふ事にばかり氣をとられてそのために個人性をそのもの、價値を認め得なくなる事は決して幸な事ではない。平凡の價値とでも云ふか、否、平凡とか優秀とか云ふ尺度をはなれて、親は子の個人性を、先生は生徒の個人性を、またお互同志友達は友達の個人性を承認して、人間としてうるほひある生活をする事が實に大切な事である。

石川五右衛門の子供は不幸であると人は云ふ、貧民窟に生れた子供は可愛相だと我々は思ふ、しかし五衛門とその子五郎一との關係、又貧民の子とその父母の關係は、實に親と子であつてそれ自身、もうどうする事も出来ない絶對の事實である。

いつも、甘いものと鹽からいものばかり食べてある人の舌は麻痺してしまつて普通の味がわからなくなつてしまふ様に、人間を賢愚の二つにわけてしまつて、普通の個人性を承認し得ない様では

困る、しかも自然に存在する無限の事實を我々人間が浅い知識でつくり出した、いくつかの法則の中に何でもかでもあてはめてしまつて、それに合はぬ事實は例外であると斷定してしまふ事は如何にも傲慢なやりかたである。

どうか我々は、この具體の子供一人一人を尊重しその個人性を承認して行きたいものである。ここにも、母たる人がどうか「兒童心理」と云ふ學問で子供の實生活の事實をはかつてそのために一人一人の子供の折角もつてゐる無比ユニークのものを普遍的なものとして取扱つてしまふ事のない様に望むのである。

(筆記……文責記者)

弘さんのお母様

關西 楓 一一 子

弘^{ひろし}さんは名を蒲生と云はれまして今年の三月に中大江幼稚園を出られて小學校へは入られました可愛い坊ちやんです。

お母さんの重子さんは流行性寒胃にかゝられて先頃御逝去遊されましたが今年弘さんが幼稚園を出られて小學校へは入られましたので御父さんが御挨拶の御手紙を幼稚園に御越し遊ばしました其中に弘さんが入園當時の御母さんの御苦心の日記が少しばかり御書添へになつてゐられました私は其を拜借いたしましたして御許しも辱ませず失禮とは存じましたなれど心のゆかしさに思はず涙ぐみました、弘さんはもとより御父さんの御歎もさる事ながらせめてもの御母さんの御志の御慰めにとてここに書く事にいたしました無斷の罪御許し下さいませ。残念なのは日記が僅かしか其御手紙には

ない事で御座ります、いつか又全部を載いてそして何かの時にと思つてゐます。

すべての女性が男性化してゆかふくとする時に、どこまでも潜在の底力ある女性として日本の國の柱をゆるがない様にするかくれた母の力——何と美しい事ではないでせうか。

外に働く男、内に守る女、私はこうしてこそ我國は千載も變りなく榮えゆく國であると思ひました。

拜啓……………

……………長男弘儀永らくの間御厄介に相成幸に本月壹日を以て東區清堀小學校へ入學致候……………

……………右蒲生弘儀昨年四月初めて入園致し候當時四五日……………

間は何うしても壹人にて通園致さず之が爲に母は非常に心勞致し居り候處先生様方の慈母の如き御愛育に馴るゝに随ひ五日目頃よりは進んで參る様に相成壹ヶ年後の本年參月頃には東區山ノ下町（之は目下御轉宅されて大分遠方にて約往復一里位ありて電車にて通園）より毎朝通園致す様に相成全く性質一變致し候は皆々様の御保育のお力による所と深く感謝致候

左の拙文は昨年十二月八日死去致し候妻女重子が弘の爲に記入致し居り候幼稚園日記文に有之同じ思の母姉の御參考にもと少しく書き抜き致候

蒲生弘幼稚園日記（滿五年二ヶ月餘）

大正七年四月二日

母の自分が高（二男）を抱いて入園の心得を拜聽にゆく、約二百名程の參集であつた。保姆長より入園の覺悟に就て、又目的其他の注意事項、體格検査の事母姉會等に就て委しく御話を承はる。『大

膽な然も緻密な子供』にして頂く事や、體格検査を嚴密にして強壯な身體にして頂く事は何よりも望ましい事である。

大正七年四月六日 入園式の當日

六時半起床。近所の馬具屋から特に子供の爲に拵へて頂いた黒羅紗の鞆が大好きで小さき草履袋と共に肩にかけて入口を出たり這入たり、モウ如何にも嬉しさうにソハ／＼して八時半の時間を待ち兼て居る。前から用意して居た着物に白い前掛をさせ、雨天なれば向皮付の利久下駄をはかせて連れてゆくイン／＼と喜んで居る。その姿を自分も幾分か打眺めて微笑まれた。

此れが弘の共同生活に入る第一歩、大きく云へば社會に踏み出す門出であると思へば非常に有意義なものとなる。

控室にて入園式が舉行せられ可愛らしい子供等の君が代やら園長様から御挨拶や御注意があり。幼稚園に子供を托されたる上は其目的を心得て總

てを一任せられたしとの御希望は御尤もと思ふ。

閉式後其れく保育室に引き取らる其時極めて目に着き易い鞆の弘の姿が見えぬのでハツとして見廻してゐる内に、フト泣き聲が聞える其は果して弘であつた。

快活にして物におぢげない、強い子供であると思つて居たのは、全く親の慾目であつたかと残念に思ふ。成るべく保育室に近よらぬ様にとの御注意であつたが重り合つて互に硝子戸越しに子供の様子如何と見守る。中には何うしても泣き止まぬ兒もあつたが先生様方の御力で漸く静かになる。

出席簿をよばれ、保育料の袋を配ばられ、サヨナラを教へられて今日はお終となる。

何となく進まぬ弘の顔色は初めて澤山の人の中に出て物おぢをしたのであらうか、ともすると、お母様く〜と少時も傍を離さない。家へ歸つてもいきなり例のナンゾく〜とせがむ。

着物を替へて、手を洗つてからと云ひきかして

もきかぬのでどうも辛棒が出来ず、泣き叫ぶのを強いて二階へ連れてゆき戒める。

今歸つた計りで此騒ぎは全く恥かしい思がした。日記の初めに此の事實を記ねばならぬのは何よりも遺憾である。

大正七年四月七日 日曜

大正七年四月八日

朝寝床よりモウ幼稚園へは行かぬなど、折々口より漏れる。

今日も二男を抱いて一緒に行つてやる。行く時は流石に嬉しそうにインインと行く。第一鈴にて列をする時に並ばないので無理に連れて行けば母の手を離さぬ又袖を引く終には泣き出して仕様がなない。今日は五の組で此の子一人が泣いてゐるので自分も悲しくなる。何うしても手を離さぬ。お母様も一しよにと云つて席につかぬ。ホトく〜弱つてしまふ、人様の前でもあり又脱腸の兆候もあるので泣かす事も出来ず云ひきかせても聞き分け

なく、手を離せば泣く何うも仕様がな。其れでも室に入つて席につくとモウ泣き止んでおけいことして課せられた青い丸形の紙を五ツ張り付けてゐる、左の手がきように働く。

昨日も今日も文具店の前を通ると、アレを買つて下さいと強請するがきゝ入れなかつた。

然し明日から賢こう一人で行つて来れば色紙を買つてあげると約した。歸つた時のお禮は出来ました。

今日の事は誰にも云はぬ事にした。子供の前で厭がる事を云はない方がよいと思つた。

大正七年四月九日

今日は父上に送られて行く、三十分四十分お歸りが遅いので又離さないのかと母上と噂とりとりの折に歸つて来られた。幼稚園の門を入ると物云ふ事も出来ず顔色も變りはきゝ／＼せないとの事にヤハリ弱い子供かとホット嘆息する。黙つて歸つて来たから若し泣いて居るのではないかと心懸

りでならぬ。ソツと急いで行つて見ると室には入つておとなしくお話をきいて居るので此の分ならばと胸をなで下した。そしてよく云ひきかせて置て歸る。これからお節句のお馳走を頂くのだと喜んで居た。時刻を計つて電車道まで迎へに行つてやると知らぬ間に横切つてサツサと歸つて来る。

今日はマア無事に濟んだ、折に觸れては一人で行く様にと色々と言ひきかせてゐる又奨励の意味ですきなお菓子などを買つてやる。又入園の心祝にお魚などを求めて夕餉の膳を賑はした。

大正七年四月十日

里の母上より頂いた傘をさして今朝は雨が降ると云ふので特に付いて行つてやる、門までは無事、下駄を納めるまではよかつたが其から内へ入りさて歸ると云へば又泣き顔に變る。暫くは口が酸くなる程あれこれと云ひきかせて、ヤツと高(二男)が家で泣いて居つては困るからと、きりぬけて急ぎ歸る。案の定、高は大聲で泣いて居た。さて

も忙しき事。漸く一人で傘をさして歸つて來た。

大正七年四月十一日

毎朝、口と顔を一人で洗ふ様になつた、又お菓子を食べる時には先づ手を洗ふ習慣が出來た。

今日は壹人で出かける、たゞ電車軌道だけが案じられる。拾壹時頃門に出て見ると北の方よりサツサと白い前掛をして歸つて來る。内に入るとタダ今を忘れて、ナンゾが先になる。

大正七年四月十二日

モウ一人で威勢よく一人で出かける、初めの女々しがつたに似ず割合に早く一人でゆける様になつたのは全く先生のお蔭と不思議に思ふ。

大正七年四月十三日

時間を待ち兼ねて出かける。雨が降り出したので、傘を持つて行つてやると子供は目の早いもの直く見つけてお母様と馳て來て、此方がピツクリさせられる。定めの所へ傘を置いて、私はモウ歸りますよと云へば笑ひながらうなづいて居る。モ

ウ大丈夫だと安心する。

大正七年四月十六日

此頃は幼稚園へ行くのが面白くて仕様がないう様に自分で進んで喜んで行く、着物は内と外を着換させて居るが此頃は自分の方から着換させてくれと云ふ様になつた。『只今』と云ふ挨拶も馴れて來て一人で勢よく出る様になつた。

(全部原文のまゝ)

御手紙の日記は之だけである、僅か十餘日ではあるがほんとに涙ぐましい節々がある。

噫此御母さんはこふいふ子思ひの尊い聖い靈を以つて遂に美しい國へ行かれたのでした。

弘さんよ貴君は、此御母さんの永遠の愛、無限の愛に生きて健全に成育されん事を。

(大正八年四月十六日稿)

フレーベルの日に (一)

大阪市江戸堀研究会

此研究会は古い長い歴史を持つてゐるのです。

會場の膳氏の特別な御世話と出席會員所屬の主席保姆の特別な御奨励とによつて年々歳々に進んで居りました。

昨年以來フレーベル祭には會員として出席談話をする事にしてゐますが今年も各自の熱誠が遂に、發露して各自思ひ／＼の事を御話になりました。

其の談話を別項に御紹介致します。

講師としては主に大阪市醫竹村一氏(大阪市兒童相談所主任)を招聘してゐられますが本年は更に種々の方面の講師を招聘し次第に研究会の發展を圖る事になつてゐます。

○母の如くに

高峯幼稚園 生田 善子

本日フレーベル祭に皆様がお集りになつて私も其の席末をけがさせて頂いたのは光榮に存じます就ましては御經驗の多い先輩諸先生の前で私のやうな無經驗で研究の足りないものが意見を述べる

と云ふのは試におこがましい事でございますが聊か平素に考へて居ることを述べさせて頂うと存じます。

私は幼兒と共に生活致します上に何よりも大切なことは幼兒に慈母の如く慕われると云ふこと、存じます保姆は幼兒に對して母の如くであり又母の様に思われなくてはなりませんななければ如何に指導に努力致しましても十分の効果を擧げることとは出来ませぬ、母親はどうして小供に慕われるのでせうか親がたれよりも子供に敬慕せられるのは夜も晝も手鹽にかけて種々の保護を與へるからでありませう言ひ換へるならば母には犠牲的の愛のあるからでありませう。

子供程、大人を見ることがの敏いものはありません、しかも一番信賴する母とか先生とか云ふもの言行はよく早取寫眞の様でございます。言葉や行ひばかりではありません、心の奥底までも見抜いて其全人格をまねるものでございます。さうで

ありますから私共が日々私共の躰を通して幼児に及ぼしますことの如何に大なるかを思ふたとき、うたゝ寒心に堪えぬ次第でありますと同時に修養の大切なることを思わずには居られないのでございます。

フレーベル先生のあの崇高なる人格。あの深厚なる慈愛、あのたゆまざる努力よく幼児教育の眞髓でないものはありません。先生の幼児教育の元祖として今日迄尙千歳の後迄も敬慕せられられますのも蓋し偶然でないことゝ存じます。其流れを汲む私共は母の如き絶對の愛をもつて幼児に慕われ先輩諸先生に習ひ益々修養を積み奮勵努力しまして職責の幾分を盡したいと存じます。終りに臨みまして、ますます幼稚園事業の榮えますことをお祈り致します。

○私の決心

堂島幼稚園 貝沼 歌

花笑ひ鳥歌ふ此の好い時節にフレーベル先生をお偲び申す爲この盛大なお祭をなさいます私も列席させていたゞきなほ其上常々感じて居ります事を一言述べさせて頂きますことは誠に光榮とする次第でございます。

私は昨年の三月自然のなした大公園瀬戸内海沿岸の尾道の高等女學校を卒へました者でございます、そして此の愛らしい子供の友達である聖らかな生活に入りました動機は忘れもいたしませぬ卒業いたしましたから二三の友と眼下には内海が一目に見え、遠くは、春霞のかなたに四國の山々がかすかにみえるまことに眺めのよい公園へ参りました。すると可愛らしい園兒は若草もえ出た緑の草の上に、爛漫と咲きみだれた櫻の下で、愛の神とも思はれます様な先生と何か楽しげにコーラス

して居られました。春の柔らかな陽は丁度彼等の世界を讚美するかの様に照らして居ました。あなんと美しい世界なのでせうか。その先生こそなんと幸なお方でせうかと、私は感慨無量でございました。私の幼稚園といふものに對して深い興味をもち初めましたのはそれからでございます。それから暫くの後、或好い機會を得まして、今日のように可愛らしい園兒と共に其の日その日を、暮して行く様になつたのでございます。無邪氣な子供と共に楽しく遊んで居りますと、自分の幸福を心の底から感謝せずにはゐられないのでございますと共に、自分の責任の甚大なことも知りまして。此の極く短い時間でございますので、御立派な皆様方の前でおこがましく申し上げる様なことにはなにもございません。けれどもたゞあちらこちらの幼稚園を參觀させていたゞきました事や、又、自分が實際子供と共に生活いたして居りまして、時々失敗いたしました事や、又、感じました事を少

し述べさせて頂きます。

私のもとから心にえがいて居りました幼稚園と申しますものは合理的な尊い愛を中心としあの天使の様な子供の自由に愉快に楽しく生活する所であると信じてゐたのでございます。然し、幼稚園と申すもの、中に入つてみますと、驚きました事もございました、そして、悲しみました事もありました。どういふ點で、あつたかと申しますと何の容赦もなく鎖でぐるぐると縛めまして、心では子供を幸福にしやうと思つてゐても、實は子供に不幸を來させてゐる事でございます。こんなのは其目的だけは合理的でございまして、その實その結果は不合理な事を生んでゐるのであると思ひます。私は合理の名の下にあつて堪えられない軛で苦しめられ束縛され絶間なく骨折つてしかも其の骨折の甲斐のない様な哀れな子供を見ますと心から子供の現在、將來を悲しみますにゐられません、喜ばしくなければならぬ時代は涙や懲戒や

威赫や奴隸的生活の中に過ぎて行く。此れは子供の爲に善い様にと思つてする事でございまして、實は知らず知らずの間に死を招いでゐるのでございませうか。あゝ私共はあふれる様な眞情でございませうか。即ち愛を盡さないからであると思ひます、これ私達第一の務だと思ひます。愛を離れてどこに智慧がございませうか。どうして子供といふ者を知ることが出来ませうか。この美しい愛と申すものが私達の生命でございませうか。私共は子供を愛して自由に遊ばせなければなりません。そしてその嬉々たる本能を發揮させなければなりません。愛は知と一致し知は愛と一致いたします。どなたでも内にほゝえみあり心に平安のあつた幼年の折を思ひ出し遊して恨めしくお思ひ遊ばす方は一人もございませうまい。直ぐと消え行く罪のない喜を何故子供から奪ひ取らうとしたり、濫用の出来ない貴い賜

を奪ひ取らうとしたり、老ひ易い幼年の折を無意義な苦痛でみたさうとするのでございませうか。自然が賦與した束の間の嬉しい時を奪ひ取つて恨を千載に遺してはなりません。彼等の生命の嬉々とした樂しみを感ずる様になりましたら樂しませただけ樂しませなければならぬと思ひます。こんな事のない様に私はいつも考へ乍ら時々よく失敗いたしました。

今日此お祭してございませうフレール先生の御一生を伺ひますと先生は實に子供と共に生きた愛の人でございませうか。

私も始めて幼稚園に入らうと決心いたしました時に抱きました心、それは美しい天使に仕ふる群として、愛ある魂の友でなければいかなる目的でも理想でもそれが子供に行はれる時には悲しい結果として現れて來るといふ事を今日一層痛切に感ずる次第でございませうか。

永く私如き者の話を御静聽下さいました事を御禮申し上げます。

（以下次號）

六月の園藝

○挿木法について

草や木の枝、時には葉を、土中に挿して、根を出させることを、挿木といふ。

大抵の植物は、挿木によつてよく根が出るもので、根の出ぬのは却つて、例外のものとして云つてよい。

挿木の方法は至つて容易であつて、始めて行つても、よく着くところから、自分には何か特殊の天才でもあるかのやうに、我れ知らず得意になることもある。

一枝からでも、やりやうによつては、随分多くの挿穂がとれる一般に、株分等カワヅケよりも、一時に澤山に蓄殖することが出来る。

生垣に作るなり、或は花壇の縁植かみちうゑにするなり、

東京女高師教授

有川ヒサエ

澤山の苗の要る時には、學校でも、幼稚園でも、小供にめいめい挿木をさせると、便利である。殊に數年を経ずして、それがちやんと、形をなして來る時には、其よろこびは、どうであらう。且つ小供の卒業後もいつまでも紀念となつて残つてゆくであらう。

挿木の時期について、大抵のものは、梅雨の間が、空中に濕氣が多くて、乾燥が少く、根の出ることが容易である。又桃とか、櫻といふやうな、落葉性のものは秋から冬にかけて、枝上に葉のない芽のかたい間が、よろしいやうである。しかし此時のは、根が出る迄に、随分日子がかゝるから氣永に構へねばならぬ。菊、ゼラニウムのやうな草性のものは、嚴寒、酷暑の候をさけてさへすれば六つかしく考へずともよい。時季に應じて、手

當を注意すれば、よろしいのである。

●**方法**は、先づナイフを充分磨いでよく切れるやうにしておき、次に、枝を準備する。枝は成る可く本年生の新らしいのが、根が出やすいけれど、餘り新しく、軟かすぎるとは、切口から腐敗し易い恐れがある。故に、新らしい枝で、相當實のいつて居るところにすればよろしい。例へば菊の挿木でも枝の極く先端の、心芽のあたりなどは、腐つたり、乾いたりして、物にならぬがまゝある。數節下つてからなら、相當に實がいつて居つて、大丈夫である。

生垣によく用ふる、カナメ、マサキ、のやうなものや、花壇の縁植にする、クサツゲ、ハクチャウゲのやうな、中でも根の出やすいものは、年中いつても、亦、何れの部分を、切つて挿してもよく着く、故に、年に何回でも枝が伸び次第、切つては挿し、切つては挿しすると、僅かの間で目的の用を充すことが出来る。又切ることによつて、

生垣や、縁植も、枝がこんで来て、形が出来て来る。

枝の切り方は、成るべく、節の直下を、スラリと斜めに、即ち切口が廣くなるやうに且つ滑かに切るとよい。

挿す場所は、普通の庭木類なら、餘り陽あたりひどくない、樹の下や、塀の際などに、床を作り、砂を三四分も混せて、此處に、三四節ある枝の半ば以上も土中にあるやうに挿して、時々水をやればよい、陽が当たる處なら、葎簀を、一枚通りもかけて置きたい。

少しのものなら、鉢や、箱に挿してもよい。さうして、腐れやすくして根の出憎いものほど、砂を多くする。挿したら、日中だけは新聞紙でも被ふて置くとよい。

大抵のものは、枝を切つて挿すまでは、せいぜい乾かぬやうに注意すべきであるが、特に仙人掌とか、ゼラニウムサボテンのやうな、多肉性のものは、多

少其儘置いて、乾してから挿すと、却つて腐敗が少くて根が出易い。

挿木後根の出る迄は、何れの場合でも、強い陽にあてぬやうに、且つ水氣がきれぬやうに、することが、何よりの注意である。根の出ぬうちに、肥料など施す人はないが、時としては、根より先きに、枝上の芽がいきいきと伸びて來るのでこれにだまされることがある。これは根よりでなく、切口より水を吸ひ上げ、それで芽が伸びたので、かうなると、枝が一體に乾き易くなるから、あまり好ましい状態ではない。

根が出たらば、床のものなら、廣く植え出すし、鉢のものなら、一本宛、培養土を以て鉢に植え取らねばならぬ。

何しろ、至極らくな、しかもたのしみな、幼稚園の小供にも六つかしくない仕事であるから、夫れ夫れに小さな土鉢でも、なければ、サッへの殻でも、辨當の折箱でも、かういふものを一つ宛與

へ、庭の植物を何でも手當り次第に、切つて挿させるとよい。小供は毎日、心配して鉢の中をのぞいて居るうちに、根の出やすいもの、出憎いものも観わけやうし、赤白い軟い小さな根か、房のやうになつて、切口や節の處から、ポツリポツリ出て來る様も観出して歡ふてあらう。

雑報

○第二回全國幼稚園關係者

大會

先に東京市に於て開かれたる第一回全國幼稚園關係者大會の折、豫定されたる第二回の同會大會は愈々來る十月、大阪市に於て開催さるゝ事となりたり、其規定左の如し。

一、場所 大阪市

二、期日 大正八年十月十七日ヨリ三日間

三、協議題及研究題

- (一) 來る六月十五日到着の日取にて、御提出のこと、遅れて到着の部は乍殘念割愛可仕候
- (二) 協議題及研究題萬一多き場合は其取捨選擇は三市保育會に御一任のこと。
- 但協議題は本大會に於て協議研究せんとする題目にして、研究題とは各員研究せる材料にして此度發表せんとする題目なり。

四、入會

- (一) 入會申込は可成速に願ひ度六月十五日以後は乍殘念謝絶可仕候
- (二) 入會者は金壹圓申込と同時に拂込まれたること。
- (三) 入會は左記様式により御申込のこと。
- (四) 一園數名御入會の場合は連名御記入のこと

府縣郡町村立又は同私立	園名	姓名

日程

- 第一日(十月十七日神嘗祭)
- (一) 開會の辭(大阪保育會長) (二) 君ヶ代(一同起立合唱) (三) 祝詞(文部大臣閣下外數名) (四) 諮問案討議 (五) 研究發表
- (六) 講演(題並講演者未定) (七) 研究發表
- 第二日(十月十八日土曜日)
- (一) 協議題討議 (二) 講演(題並講演者未定) (三) 見學(大阪市内各名勝舊跡工場等)
- 第三日(十月十九日曜日)
- (一) 諮問案討議 (二) 協議題討議 (三) 茶話會 餘興
- 以上

京都大阪神戸三市保育會
 代表者 大阪市保育會
 (大阪府女子師範學校内)

○日本幼稚園協會總會

本會總會は去る五月十七日午後一時半より東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て開かれました、湯原會長の挨拶について倉橋主幹より會務報告其他につきてのお話があり引つゞき當日の講演にうつりました。

最近歐米より歸朝されし藤井教授よりは、別項記載のきはめて興味ふかきお話があり續いて菅原文學士の『子供と人形の浮世繪』について講演がありました。この方面に多大の趣味を有せらるゝ同先生が多年苦心蒐集せられたる錦繪、浮世繪、その他畫趣多き書籍の中に一同はうづまりて、この得がたき機會に、古今の珍品を鑑賞しつつ、子供と人形をえがきし畫家の話を傾聴し、さながら慶長、安永の昔にかへりし心地に時の經つのも忘れました。

この日はさすがに廣き會場も、眞に立錫の餘地なく、場外にあふれて佇立して傾聴するの止むなき有様、實に近來になき盛會でありました。

講演おはつて別室にて一同茶菓懇談に時を移し各々家路さす頃空には星がチラ／＼見えはじめました。

○高松市に於ける保育講習

香川縣保育會及同市婦人會主催の下に來る七月廿五日より五

日間高松市に於て倉橋惣三先生を聘し「幼児教育」に關する講習會を開く由。

○日本幼稚園協會常會

本會六月常會は來る六月十四日午後一時半より東京高等女子師範學校附屬幼稚園に於て開催、當日は倉橋惣三氏「此頃の子供繪雜誌につきて」の講演がある筈。家庭の方々も多數來聽を歓迎致します。

幼稚園教育學講義

——神戸に於ける講演——

文學博士 谷 本 富

第三章 モンテツソリー

の方法に就て

以上今日まで説き來つたフレーベル氏竝にロバートオーウエン氏の教育的立脚地を一言で云つたならば、氏は何處迄も哲學的基礎で而も基督教主義的根據であると看られ、オーウエン氏は經濟學的根據をもつて立つて居たと云へる。然らば今からお話しやうとするモンテツソリー氏はどうかといへば、彼は醫學を根據として立つて居るのである。彼は本年五十七八歳の婦人で、イタリーのドクターである。一千九百年頃ローマ大學の精神病院の助手であつたため、低能兒の教育に興味を持つ様に成り、同時に貧民の子供の教育の爲めにも

大に力を注いで居た。それから一千九百七年に *Itari* と *Seguin* といふ兩大家の説を基として始めて *Casa dei bambini* 即ち英譯すると *House of Children* で「小兒の家」とも謂ふべきものが設立され、爾來その發展に盡力されて居る様な次第である。

其の特徴を列擧して見ると、次の様である。

一、人類學的測定 二、環境の測定 三、この二つを先驅として、さて進んでは先づ 三、訓練で、教育するより前に先づ躰をすることが必要であるといふことを云つて居る。

その訓練の原則とも謂ふべきものは二綱三領あつて、二綱とは第一自由、第二獨立であり、三領とは（一）清潔（是れはイタリーは實に不潔であるため

にかゝることをいつたのでもあらう)(二)簡單、
(三)客觀的(物として具體的に見せること)でなければならぬ即ち實際生活と結びついて居なければならぬ。

訓練の次には 四、教育でそれは次様になる。

(一)筋肉の練習

單に體操をするのみでない。先づ歩くことより始まり、呼吸談話の筋肉運動の進むことが必要である。

そのため梯子に手摺をつけて登らす様なこともする。少し進めばマーチをさせる。次に進めば少し重い物を持たせて走らせる。これが今一層進めば教育的に秩序整然とやる。それは(イ)農業――物の培養をさせるので、自然物を愛することが主になる。

(ロ)手工――瓶を造らせること、何故なれば人類の初めは瓶を造つたものである。現に歴史上から見ても、此の瓶は昔はそれに水を入れ、頭のもの

せて運んだものである。希臘羅馬はさうであつた。

(ハ)體操――幼少の時から深呼吸の體操をさせること。これに依りて腺病質を治し、肺患を防ぐ効は少くない。

(二)智力

(イ)感覺――五官を悉く働かすこと。元來從來の教育上では、臭ひと味とをさげすんで居るが、それは貴族的であつて、今日の時代には適應しないのである。否この二の感覺の教育が眞に出來れば、眞のデモクラシーは出來るとまで云ふことが出來るのである。

(ロ)高尚なる智力

一つ一つの感覺から觀念を導き、それに名をつけること、これが高尚なる智力を伸ばす基である。而して又感覺と名稱と結合を重んじ、物體と名稱の結合が完全に出來て高尚なる知力の發達となる。

(ハ)技術

讀書算術を教へること。

モ氏は書讀といつて居るつまり書くことが先で而も書くことは生理的のもので、讀むことは社會的のものである。と云つて居る。

蓋し書き方は筋肉運動に據るので、板に字が書いておつてそれを撫でさせ次に空中に書かせる。

又讀み方は始め言葉を教へるか又は一つ一つの綴りを教へるがよいか問題である。

さて次に硬さ軟さ重さ等を試練する而して之を實際の生活と結びつける。否一步を進めては、ボタンのかけ方や、あみあぐのくくり方の如きことに付いても色々大略十通りの方法を練習することになつて居る。

掃除をさせること。これは我が國では問題になつて居る。

食事は學校でさせることになつて居る。特にイタリーの貧民の兒童等は朝食をせずに登校するか

ら温い汁の如きものを學校で與へることは近頃一般にある。

斯くモ氏の幼兒教育法については、色々具體的方法があつて一々詳説に暇ないが、それを一層精しく知らんとするには、夫の *montessori method* と云ふ普通のもの外に、最近英譯にも成つた *Advanced method* といつて千九百十四年版のものが最好適の書物であらう。

以上はモ氏の所説の大要だが、之れに對して批評した人は色々ある。就中カークバトリック氏の兒童心理學並に兒童教育學の立場から批評して居るのは大に參考に成る。即ちその著はせるものに *Montessori Examined* (1915) がある。其の要點を擧げて見ると次の様である。

一、モンテツハリとフロエベルと孰れがよいか。

モ氏の原則

(イ)教育は内面から發せねばならぬ。

(ロ)個別教育でなければならぬ。

この二ヶ條はフロエベル氏とても亦全く同一である。併しモ氏の理論は如何にも尤らしいが、彼の實際の方法は拙ない。つまり子供本位といつて居るが、餘りに無秩序であつてさわがしい故、これは良家庭、良社會、良國家には用ひられぬ。

二、自己教育

理屈はよいが之に對する反對が五つある。

(イ)機械的で無變化。

(ロ)社會的興味を缺いで居る(フ氏と反對)

(ハ)遊戯がない。

(ニ)話が部分的である

(ホ)粘土細工が足りない

三、モ氏は實際的生活を頻々喋々して居る。之は最であるがそれが巧に實現されて居ない。實際に見た人の説に依れば餘りに亂れて居て又社會的の團結が出来て居ない。

四、感覺の練習に就いて

感覺練習に對する學說の根據が古いと云ふは凡て感覺の練習には

A 説——放任説

B 説——一つの感覺をよく教育すれば他の感覺は自然によく成る、例へば右の手をよく練習せば右の手は自から發達する。

C 説——特別感覺練習説

一つは一つづゝ練習せねばならぬと色々あるか、モ氏の説はA説とB説の中間をうろついて居て、未だC説を知らぬきらひがある。

五、技術

モ氏は讀方書を早くから教へる様だが、それは無用である。米國流の進んだ考へでは、六歳前は少しも教へぬ。フ氏も亦同様の説である。否書き方丈は出来もしやう。然しそれはイタリー語なればこそ出来るのである。それは綴方法が極めて簡單なからである。

要するにモ氏の説を批評すればつまり五短三長

といつてよい。

五短

(一) 感覺よりしてすぐ名稱に導くことは間違つて居る。着想することは止めてほしい。古い心理學の弊にとらはれて居る。

(二) 米國デュエー氏の教育學說などに比すればモ氏のもののは極めて淺いものである。

デュエー氏の説には根底がある、即ち個人の發達と人類の發達とを同じものと視て居る處から説を發して居る。

(三) モ氏は成程幼稚園の事を科學的に研究したが尙前にも同様の研究した人がある。

(四) 貧民の方面に對して效能があるが一般に對してはいかゞはしい點がある。

(五) 讀方書方はイタリーでは出来るが他では出來ぬ。

三長

(一) イタリヤでカーサーバンピオンを建てたこ

とは此の人の功ある處である。

(二) 科學的にした處は感心である。

(三) 自由を實際に應用し様とした處は偉い處である。

それにつき又米國ホルム氏の批評が面白い、それは千九百十二年に出た *montessori method* といふ書物の序文を書いて居るが、その内に次の様なことをいつて居る。曰はく總じて *Originality* が少くない。然し彼を評するに三つの言葉がある。

イ 顯著なること。

ロ 目新らしきこと。

ハ 要用なること。

斯く一抑一揚して、終りにモ氏とフ氏との比較がしてある。

一、子供の活動、自由といつて居るのは二つながら一所のことである。

二、感覺練習

フ氏の恩物は思想が廣大で獨創的である。

モ氏のそれは卑近で實際的である。

三、體育はフ氏は團樂的遊戯に重きを置くが、モ氏は身體の一つ一つを練習する。

四、主義

フ氏 符號

モ氏 實際

此處は家庭の關係による

要するにモ氏は自由を無限に用ひ過ぎる様な傾がある。而して技術を重んずるのはつまり貧民のことと考へて居る爲めである。そこで

(一) 幼稚園關係者の殊に考へて居ることは子供の自由といふことは最も大切なことであるけれども然しその自由は放任といふことゝは全く異つて居る制限のある自由であるといふことを忘れてはならぬ。

(二) 感覺練習のみに重きを置いてはいけぬ。

徒らに妄想的練習法は止めねばならぬ。

讀方書方算術の如きは米國に於てはいらぬ。

(三) 幼稚園の保育を三箇年間にするとしたら、一

年の者にはモ氏流でやり、二年のものにはフ氏流にし、更に三年のものには便宜上モ氏の後の方法を用ひたら如何のものであらうか。云々。

(文責在筆者……神戸幼稚園志賀未子)

日ながとこども

まだ、小鳥が、梢に遊んでゐるのに、

私は寢床に入らねばならない。

まだ、大人が、日向の街を歩いてゐるのに、

私は寢床に入らねばならない。

まだ空は青い、日は暮れない――

私は、もつとノノ遊びたいのに、

私は寢床に入らねばならない。

(――ステイアンソン――)

日本幼稚園協會役員

會長

湯原元一

主幹

倉橋惣三

幹事 (イロハ順)

井村くに 池田トヨ (會計) 坂内ミツ (庶務) 和田實和田くら

土川五郎 奈良山梅 小向きみ 小高つや (編輯) 及川ふみ

評議員 (イロハ順)

乙竹岩造 吉田熊次 田中ふさ 野口幽香 篠井哲

榎山榮次 藤井利譽 下田次郎 日田權一

地方委員 (イロハ順)

折井彌留枝 大和田りよう 坪内きく 宇式かん 久住モト

坂井ふで 司馬のぶ 望月くに 勝たけ

加盟保育會

- 東京市保育會
- 京都保育會
- 大阪市保育會
- 神戸市保育會
- 静岡縣保育會
- 名古屋保育會
- 香川縣保育會
- 福島縣保育會
- 吉備保育會

本誌は最も平易な、最も教育的な子供繪雜誌たるべく苦心して居ります

コドモ

編輯顧問 高嶋平三郎先生

幼童 雜誌 良友

本誌はコドモの兄様姉様に當り、小學生の讀物として最も適當な雜誌です

近來子供雜誌や繪本類が非常に多くなつて、既に二三十種に達してゐる。

世の父兄諸氏は、この多くの同種中、はたして何れを子弟の爲に選ばるゝであらうか。單に玩具と見做して、その選擇を慢然兒童の取捨に一任して置いてよいであらうか。

發行所 東京市小石川區 東町七十五番地 電話 六一八二 小石川社モドモ

明治三十四年一月廿八日第三種郵便物認可(毎月一回一日發行)

幼 兒 教 育 第 十 九 卷 第 六 號

大正八年五月廿八日納本

刊

印刷所

凸版印刷株式會社本社所分工場